

# 2023年11月期 第2四半期決算説明資料



2023年7月13日

ニッセイ（日本毛織株式会社）

東証プライム市場 3201

# 2023年11月期第2四半期 ハイライト



2023年11月期第2四半期は、前年同期比で増収も円安による羊毛原料コストの上昇やエネルギー費・物流費の高騰等の影響で減益

売上高	545.4億円	(前年同期比 1.7%増 ↑)
営業利益	45.7億円	(前年同期比 11.9%減 ↓)
経常利益	48.1億円	(前年同期比 17.2%減 ↓)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	33.1億円	(前年同期比 13.1%減 ↓)

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジし、持続可能な社会の実現と社会課題の解決に向けて貢献してまいります。

## 健康・快適への取り組み

- 地域に根差した街づくり、地域密着型SC
- ライフサポート関連事業の拡大（保育、キッズランド、介護、スポーツ）
- 制服の供給を通じた教育環境への貢献
- 環境教育プログラム・教育研究所による教育支援活動
- メディカル関連への取り組み



## 安心・安全への取り組み

- 安心・安全・快適な製品・サービスの提供
- トレース可能なバリューチェーンの構築
- 技術革新の推進、基礎研究の促進



## 環境への取り組み

- 天然素材であるウールの特性を生かした環境配慮素材の開発
- 環境フィルターの開発・提供による環境問題の改善
- 太陽光発電の設置による環境負荷の低減
- 回収・リサイクル活動の促進による環境負荷の低減
- 省エネルギー活動の促進、CO2排出量の削減、廃棄物の削減

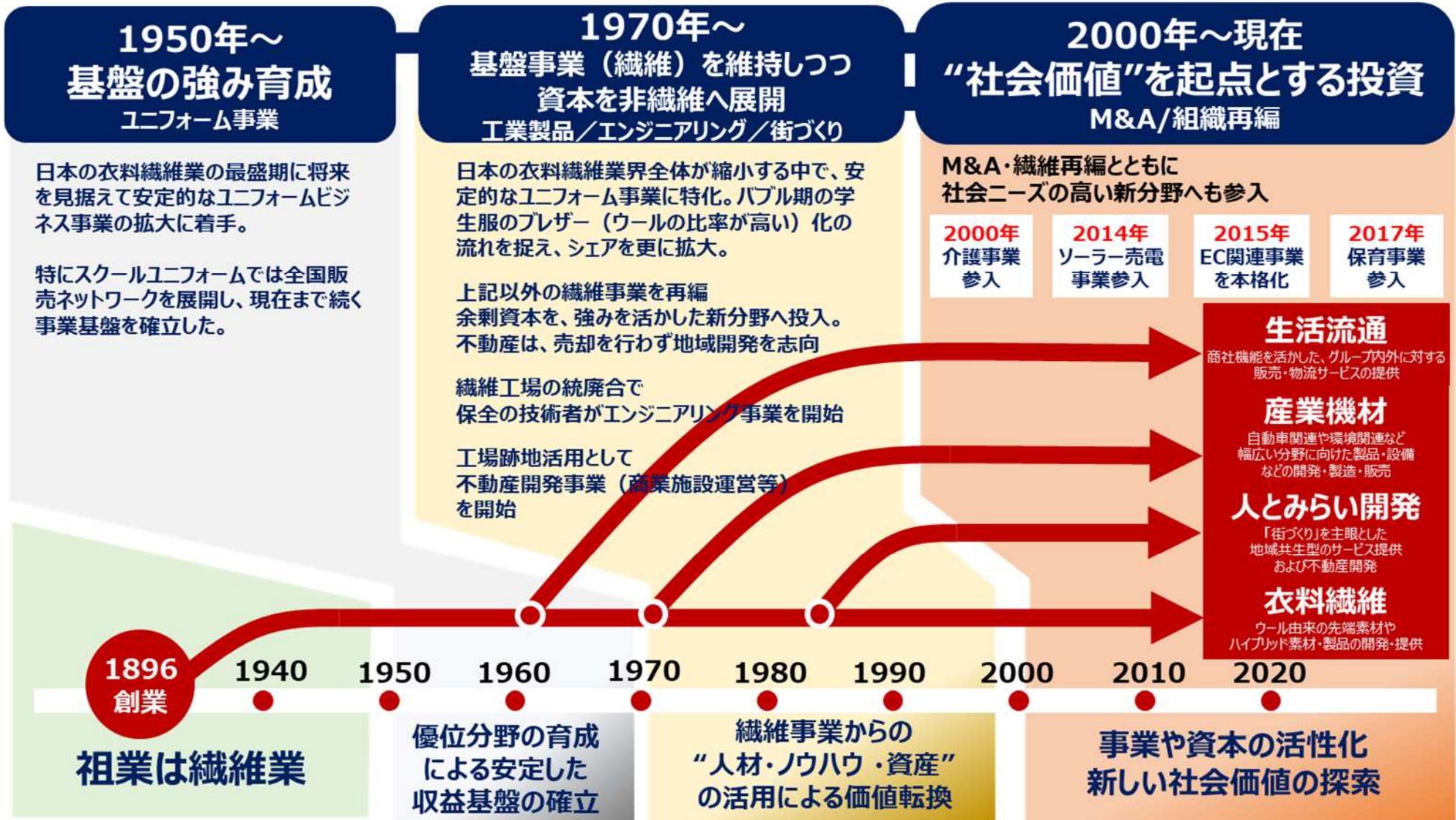


## 経営基盤の強化

- コンプライアンス遵守の徹底
- 健康経営の実践
- ダイバーシティの推進・強化 等



# ニッケグループの歩み 価値転換の歴史







# ニッケグループ会社数の推移



※各年11月末時点でのニッケグループ会社数

# ニッケグループの事業領域とサービス

売上構成	事業領域	セグメント内 売上構成	主な取り扱い商品・サービス
 <b>衣料繊維 事業</b> <b>29%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ユニフォーム</li> <li>■ テキスタイル</li> <li>■ ヤーン</li> <li>■ その他</li> </ul>	78% 15% 6% 1%	<u>学校制服用素材</u> ／ <u>一般企業制服用素材</u> ／ <u>官公庁制服用素材</u> <u>一般衣料用素材</u> 売糸 <u>その他</u>
 <b>産業機材 事業</b> <b>22%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動車関連</li> <li>■ 環境関連</li> <li>■ その他産業関連</li> <li>■ 生活関連</li> </ul>	39% 9% 37% 15%	<u>FA/緩衝材/エアバッグ・シートベルト用縫製糸/モーター結束紐</u> <u>フィルター/エネルギー関連設備</u> <u>OA・家電向け資材/半導体関連部品</u> <u>ラケットスポーツ関連/フィッシング関連/楽器用資材</u>
 <b>人とみらい 開発事業</b> <b>31%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商業施設運営</li> <li>■ 不動産開発</li> <li>■ ライフサポート</li> <li>■ 通信・新規サービス</li> </ul>	14% 27% 24% 35%	<u>商業施設運営</u> <u>不動産賃貸/ソーラー売電事業/建設事業</u> <u>保育・学童保育/介護/スポーツ関連</u> <u>通信関連/キッズランド/フランチャイズ事業</u>
 <b>生活流通 事業</b> <b>18%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 寝装品・業務用品</li> <li>■ 生活雑貨</li> <li>■ ホビー・クラフト</li> <li>■ その他</li> </ul>	24% 51% 17% 8%	<u>寝装品/航空機内膝掛毛布/災害備蓄用毛布</u> <u>生活家電・雑貨/100円ショップ向け雑貨/家具/フィルム</u> <u>スタンプ用インク・スタンプ/乗馬用品/手編毛糸</u> <u>コンテナ販売/保険代理店</u>

※売上構成・セグメント内売上構成は2023年11月期第2四半期 実績ベース

※売上構成は全社売上高からその他・調整部門売上高1,868百万円を除いた売上高をベースに算出

# 主な連結対象範囲・期間の変更

サンコー(株) : 2023年第1四半期から連結開始

(株)インテリアオフィスワン : 2023年第3四半期から連結開始 (予定)

会計年度	連結対象	1Q	2Q	3Q	4Q
2023/11月期	サンコー(株)			10カ月	
2023/11月期	(株)インテリア オフィスワン			6カ月	

1. 2023年11月期 第2四半期実績	P 9～
2. 2023年11月期 業績予想	P20～
3. RN130第2次中計進捗	P28～
4. 株主還元	P39～
5. トピックス	P43～
6. 参考資料	P48～



# 1. 2023年11月期 第2四半期実績



# 連結業績概要



人とみらい開発事業が堅調に推移するも、原材料の高騰やエネルギー費・物流費の高騰が全体の収益を圧迫し前年同期比では減益

	第2四半期実績			前年同期比増減		業績予想進捗
	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期	金額	比率	比率
(単位：百万円)						
売上高	50,532	53,616	54,548	931	1.7%	45.1%
営業利益	4,699	5,187	4,570	-616	-11.9%	41.5%
営業利益率	9.3%	9.7%	8.4%	-1.3%	-	-
経常利益	4,401	5,811	4,810	-1,000	-17.2%	42.2%
特別損益	-2,178	79	137	57	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,044	3,811	3,313	-497	-13.1%	45.4%

## セグメント別業績



		第2四半期実績		前期比増減	
		2022/11月期	2023/11月期	金額	比率
(単位：百万円)					
衣料繊維事業	売上高	14,258	15,091	833	5.8%
	営業利益	1,471	1,317	-153	-10.4%
	営業利益率	10.3%	8.7%	-1.6%	-
産業機材事業	売上高	11,685	11,711	25	0.2%
	営業利益	663	414	-249	-37.6%
	営業利益率	5.7%	3.5%	-2.2%	-
人とみらい 開発事業	売上高	16,816	16,341	-475	-2.8%
	営業利益	3,195	3,258	63	2.0%
	営業利益率	19.0%	19.9%	0.9%	-
生活流通事業	売上高	9,029	9,536	507	5.6%
	営業利益	634	311	-322	-50.9%
	営業利益率	7.0%	3.3%	-3.7%	-
その他・調整	売上高	1,827	1,868	40	2.2%
	営業利益	-777	-732	45	-
合計	売上高	53,616	54,548	931	1.7%
	営業利益	5,187	4,570	-616	-11.9%
	営業利益率	9.7%	8.4%	-1.3%	-

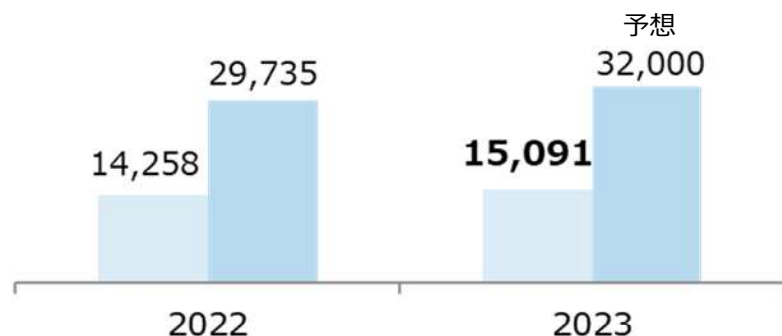


# 衣料繊維事業



売上高 15,091百万円 前期比 +5.8%  
営業利益 1,317百万円 前期比▲10.4%

■ 中間 ■ 通期 売上高 単位：百万円



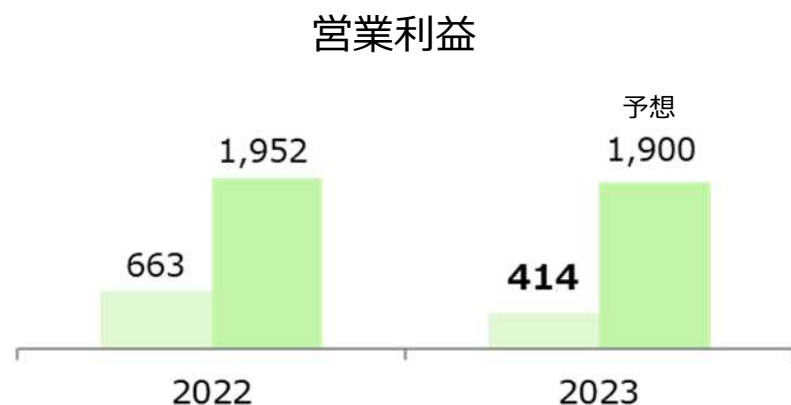
## <業績概要>

- ✓ 学校制服用素材販売は、前年同期並み。
- ✓ 官公庁制服用素材販売は、警察向けは低調。
- ✓ 一般企業制服用素材販売は、引き合いは増加も当第2四半期での販売に至らず低調。
- ✓ 一般衣料用素材は、市況の回復等により好調。
- ✓ 売糸はニット関連の販売が大幅に増加し好調。
- ✓ 円安による羊毛原料価格上昇やエネルギー費高騰がユニフォーム事業の収益を圧迫。

# 産業機材事業



売上高 11,711百万円 前期比 +0.2%  
営業利益 414百万円 前期比 ▲37.6%



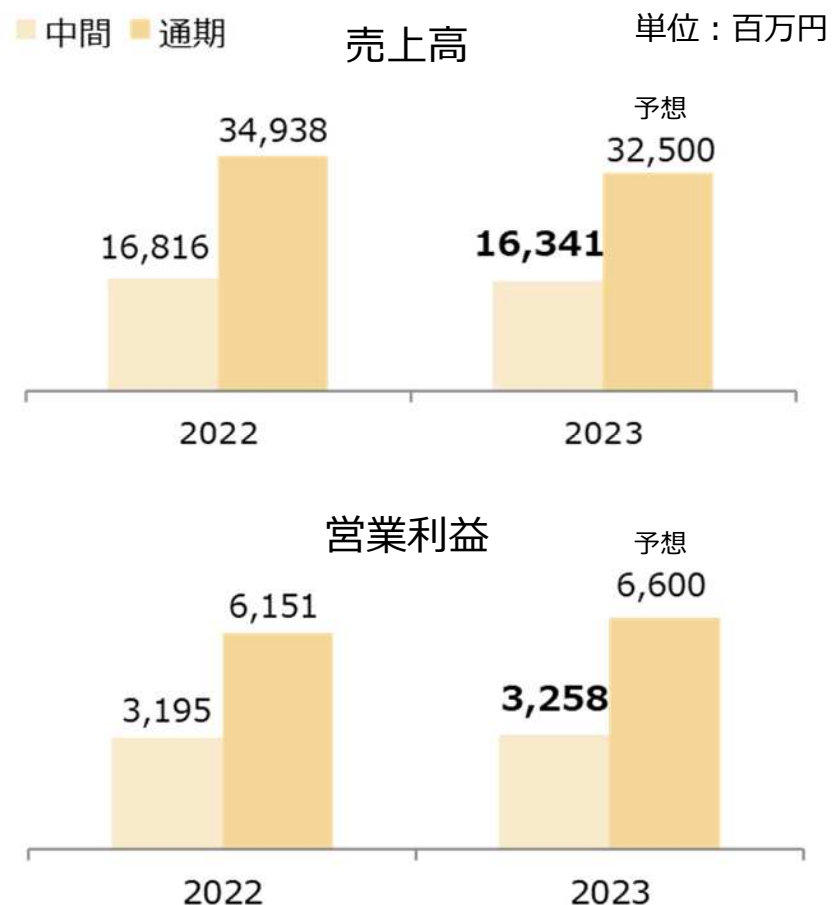
## <業績概要>

- ✓ 車両向け不織布・縫製糸、結束紐等は、自動車生産が不安定に推移しており低調。
- ✓ 車載電装品製造ラインのFA設備は、顧客からの受注は回復傾向にあるものの、半導体等の部材入手遅延の影響等により前年同期並み。
- ✓ 環境・エネルギー関連資材は、前年同期並み。
- ✓ ラケットスポーツ関連は、顧客在庫調整の影響で低調。
- ✓ 原材料やエネルギー費高騰が全体の収益を圧迫。

# 人とみらい開発事業



売上高 16,341百万円 前期比 ▲2.8%  
営業利益 3,258百万円 前期比 +2.0%



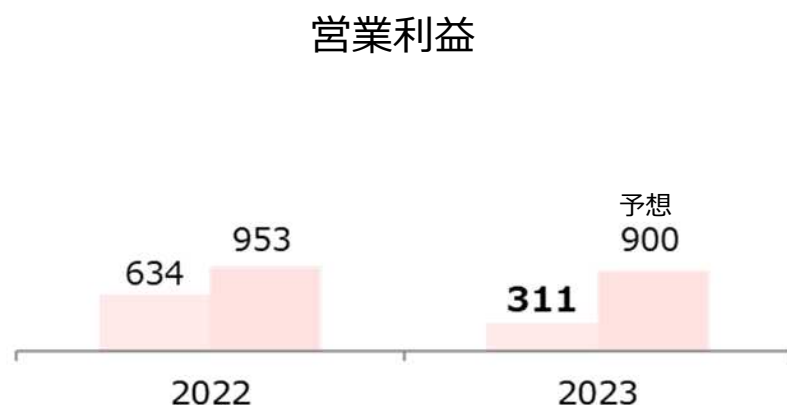
## ＜業績概要＞

- ✓ 商業施設運営は、コルトンプラザのリニューアル効果で堅調。
- ✓ 建設関連は、資材の調達遅れ等で工期が延期になり低調。
- ✓ 保育、介護関連は、前年同期並み。
- ✓ キッズランド事業は、利用者数が増加し好調。
- ✓ 通信、レンタルビデオ関連事業は、一部店舗の閉鎖・縮小等により低調。

# 生活流通事業



売上高 9,536百万円 前期比 +5.6%  
営業利益 311百万円 前期比 ▲50.9%



## <業績概要>

- ✓ EC向け寝装品販売は、低調。
- ✓ 業務用品は、防疫品の販売が増加し堅調。
- ✓ スタンプ販売は、年賀商材の減少等で低調、スタンプ用インクの販売は、国内が堅調も海外は不調。
- ✓ EC向け生活家電販売は、当期よりサンコー(株)がグループに加わり好調。
- ✓ 仕入価格高騰やEC関連の広告宣伝費・物流費の上昇が全体の収益を圧迫。

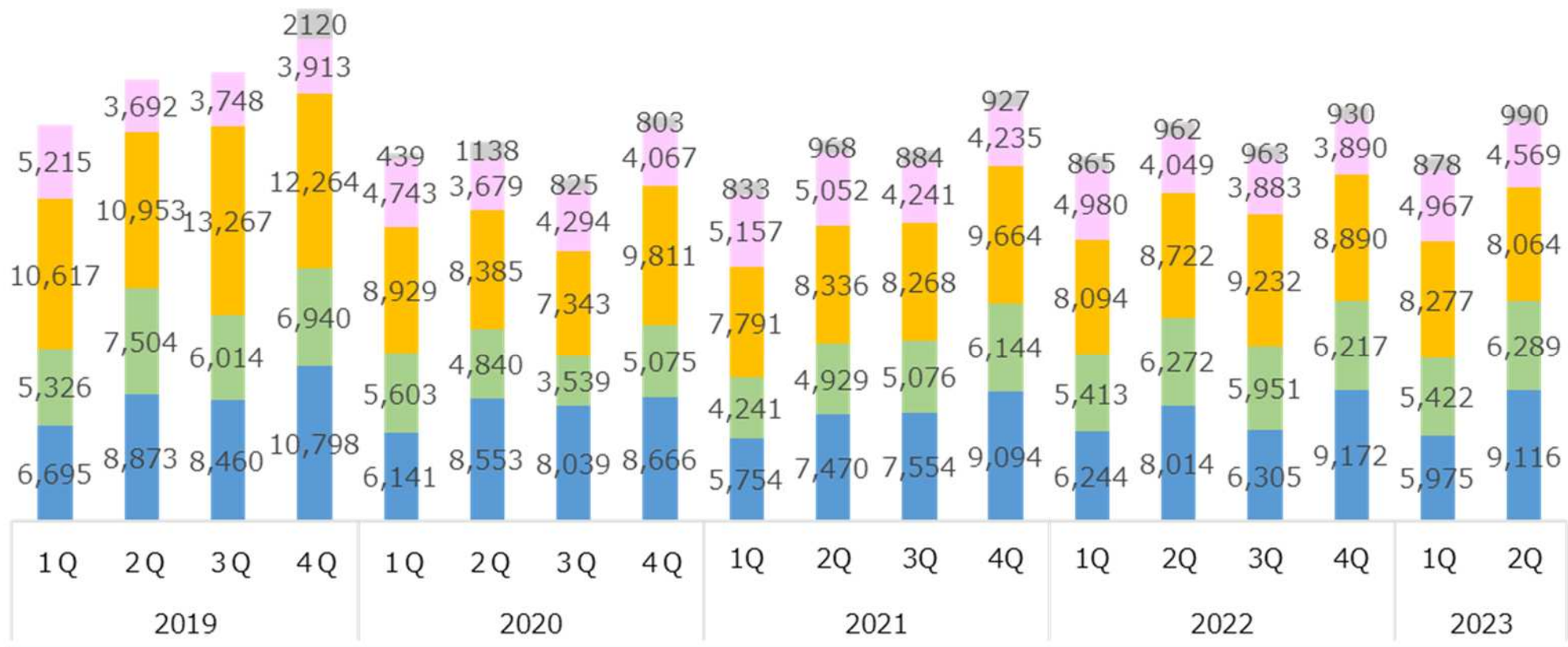
# セグメント別 売上高 四半期推移



## 連結売上高 四半期推移

単位：百万円

■衣料繊維 ■産業機材 ■人とみらい開発 ■生活流通 ■本社



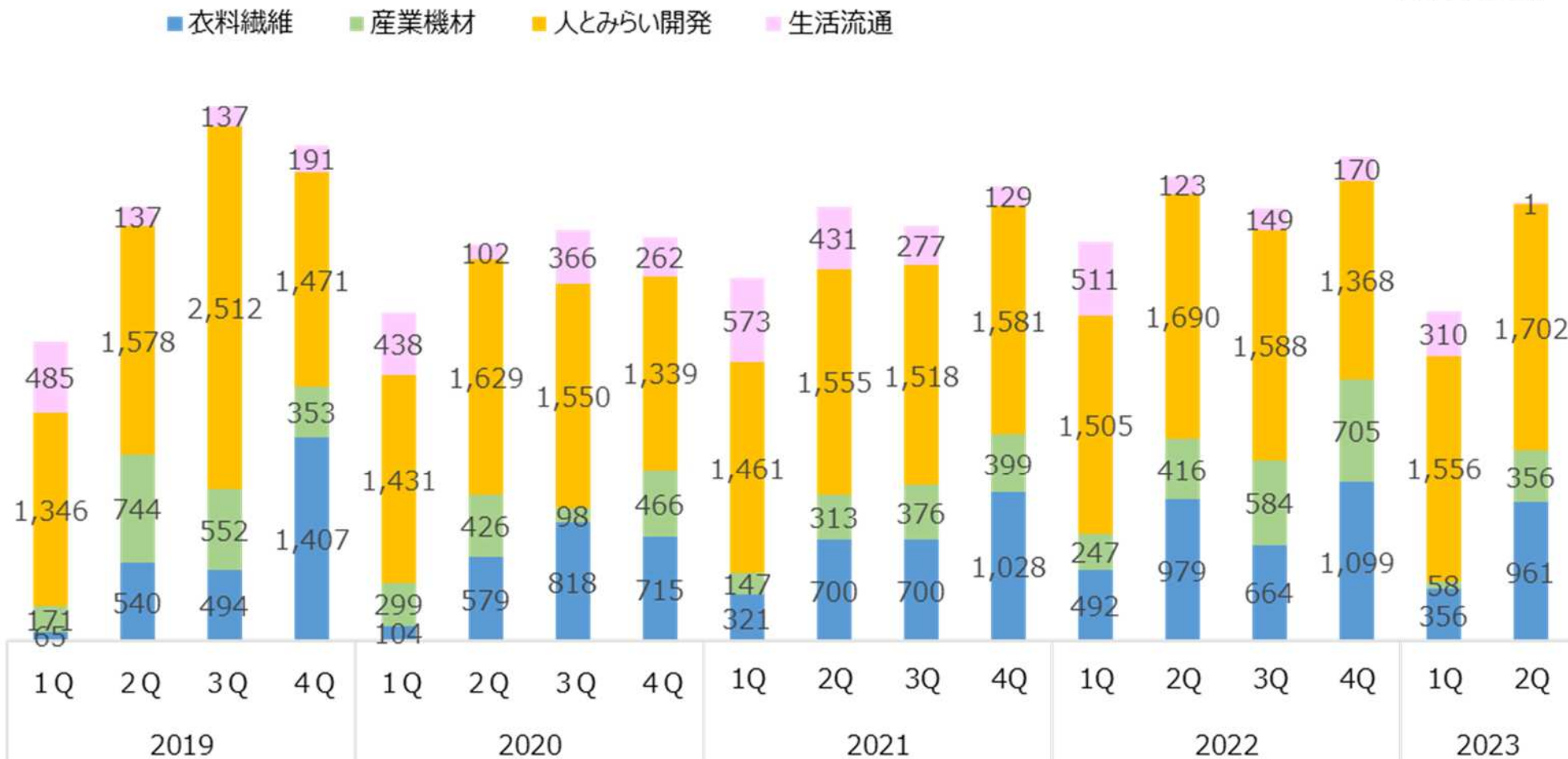


# セグメント別 営業利益 四半期推移



## 連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



※その他・調整額は除く

# 連結貸借対照表／CF サマリー



(単位：百万円)

連結貸借対照表	2022/11	2023/5	増減
流動資産	88,904	92,438	3,533
固定資産	74,479	72,620	-1,858
資産合計	163,384	165,058	1,674
流動負債	38,239	38,429	189
固定負債	17,409	16,514	-895
負債合計	55,649	54,943	-706
株主資本	101,423	103,096	1,672
その他包括利益累計額	5,206	6,168	961
非支配株主持分	1,103	850	-253
純資産合計	107,734	110,115	2,381
連結C/F	2022/2Q累計	2023/2Q累計	増減
営業キャッシュフロー	6,196	4,981	-1,215
投資キャッシュフロー	-1,264	-175	1,089
財務キャッシュフロー	518	-1,850	-2,368
現金及び現金同等物の期末残高	46,691	37,978	-8,713

# 設備投資／M&A推移



## 設備投資推移

(単位：百万円)



## 2023年度 主な設備投資計画

投資案件	計画	実績
収益不動産の取得	約 30.0億円	—
衣料繊維製造設備合理化投資等	約 25.0億円	約 3.0億円
SC関連工事	約 6.7億円	約 0.5億円
研究開発実験棟新設等	約 3.1億円	—
介護施設増設	約 2.8億円	約 2.8億円

## RN130第2次中計 M & A 進捗

RN130第2次中計 M&A投資枠	RN130第2次中計 (2021~2023)			
	区分	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期 ※2
<b>200億円</b>	実施案件	(株)フジコー・(株)ワイワイ	サンコー(株)	(株)インテリアオフィスワン (6月)

※1 設備投資計画金額は予算枠として設定

※2 2023/11月期：M&Aは(株)インテリアオフィスワン（実績）以外にも随時6～7案件を検討

## 2.2023年11月期 業績予想



# 事業環境認識



事業部	事業環境認識（見通し）	
	短期～中期	長期
衣料繊維事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円安進行に伴う羊毛原料調達コストの増加</li> <li>・製造工場でのエネルギー費の高騰</li> <li>・物流費の高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化による国内学生服市場の縮小</li> <li>・LGBTQ対応で学生服のプレザー化が進む</li> </ul>
産業機材事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連（資材）は自動車生産が不安定に推移</li> <li>・製造工場でのエネルギー費の高騰</li> <li>・産業資材原料、機械部材価格の高騰</li> <li>・物流費の高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EVや自動運転関連需要の増加で自動車関連分野の市場が拡大</li> <li>・規制強化が進む中国で環境関連分野の市場が拡大</li> <li>・工場自動化等のインフラ投資の加速でFA市場が拡大</li> </ul>
人とみらい 開発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズランド事業（屋内型遊園地）はコロナによる利用者減少から回復</li> <li>・ショッピングセンター等、各施設でのエネルギー費の高騰</li> <li>・建設関連事業での建築資材コストの高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護、保育関連市場が拡大</li> </ul>
生活流通事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EC関連市場の拡大ペースが減速</li> <li>・国内外仕入品価格の高騰</li> <li>・物流費の高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECがライフスタイルとして定着</li> <li>・EC関連市場の競争が激化</li> </ul>

# 2023年11月期 業績予想



セグメント別では増減があるものの、全体では当初予想から変更無く  
前期比では増収、営業利益は増益を見込む

	実績		2023.7.13 予想	前期比増減	
	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期	金額	比率
(単位：百万円)					
売上高	106,619	109,048	121,000	11,952	11.0%
営業利益	9,900	10,707	11,000	293	2.7%
営業利益率	9.3%	9.8%	9.1%	-0.7%	-
経常利益	9,784	11,715	11,400	-315	-2.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,308	7,283	7,300	+17	0.2%

## 2023年11月期 セグメント別業績予想



(単位：百万円)		実績		予想		前期比増減	
		2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期		金額	比率
				2023.1.13	2023.7.13		
衣料繊維	売上高	29,872	29,735	33,800	32,000	2,265	7.6%
	営業利益	2,749	3,234	3,300	3,300	66	2.0%
	営業利益率	9.2%	10.9%	9.8%	10.3%	-0.6%	-
産業機材	売上高	20,390	23,853	30,900	27,800	3,947	16.5%
	営業利益	1,235	1,952	2,200	1,900	-52	-2.7%
	営業利益率	6.1%	8.2%	7.1%	6.8%	-1.4%	-
人とみらい 開発	売上高	34,059	34,938	30,800	32,500	-2,438	-7.0%
	営業利益	6,115	6,151	6,250	6,600	449	7.3%
	営業利益率	18.0%	17.6%	20.3%	20.3%	2.7%	-
生活流通	売上高	18,685	16,802	22,000	25,000	8,198	48.8%
	営業利益	1,410	953	1,200	900	-53	-5.6%
	営業利益率	7.6%	5.7%	5.5%	3.6%	-2.1%	-
その他・ 調整	売上高	3,612	3,720	3,500	3,700	-20	-0.1%
	営業利益	-1,610	-1,584	-1,950	-1,700	-116	-
合計	売上高	106,619	109,048	121,000	121,000	11,952	11.0%
	営業利益	9,900	10,707	11,000	11,000	293	2.7%
	営業利益率	9.3%	9.8%	9.1%	9.1%	-0.7%	-



## 2023年11月期 衣料繊維事業



	実績		予想		前期比増減	
	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期		金額	比率
			2023.1.13	2023.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	29,872	29,735	33,800	32,000	2,265	7.6%
営業利益	2,749	3,234	3,300	3,300	66	2.0%
営業利益率	9.2%	10.9%	9.8%	10.3%	-0.6%	-

(前期比)  
売上・利益  
増減要因

- ✓ 学校制服用素材は下期に販売の増加を見込むも、円安による羊毛原料コストやエネルギー費高騰が収益を圧迫。
- ✓ 一般企業制服用素材はコロナ禍で低迷していた市況の回復等を見込む（引き合いは増加しているものの当初予想比では進捗に遅れ）。
- ✓ テキスタイル・ヤーンはコロナ禍で低迷していた市況の回復を見込む。





## 2023年11月期 産業機材事業



	実績		予想		前期比増減	
	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期		金額	比率
			2023.1.13	2023.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	20,390	23,853	30,900	27,800	3,947	16.5%
営業利益	1,235	1,952	2,200	1,900	-52	-2.7%
営業利益率	6.1%	8.2%	7.1%	6.8%	-1.4%	-

(前期比)  
売上・利益  
増減要因

- ✓ 車載電装品製造ラインのFA設備は、製造の効率化や営業力強化による新規受注拡大を見込む（半導体等の部材入手遅延の影響等で当初予想比では進捗に遅れ）。
- ✓ エネルギー費・原材料・物流費の高騰による製造コストの上昇が収益を圧迫（当初予想より製造コストの上昇幅が大きく、価格転嫁で吸収しきれず）。



# 2023年11月期 人とみらい開発事業



	実績		予想		前期比増減	
	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期		金額	比率
			2023.1.13	2023.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	34,059	34,938	30,800	32,500	-2,438	-7.0%
営業利益	6,115	6,151	6,250	6,600	449	7.3%
営業利益率	18.0%	17.6%	20.3%	20.3%	2.7%	-

(前期比)  
売上・利益  
増減要因

- ✓ 商業施設運営は、コルトンプラザのリニューアル効果を見込む。
- ✓ キッズランド事業は、コロナ禍の低迷から回復し利用者数の増加を見込む。
- ✓ 建設関連は、大型物件の減少を見込む。
- ✓ 通信・TSUTAYA関連は、事業再編や不採算店舗の閉鎖を見込む。



## 2023年11月期 生活流通事業



	実績		予想		前期比増減	
	2021/11月期	2022/11月期	2023/11月期		金額	比率
			2023.1.13	2023.7.13		
(単位：百万円)						
売上高	18,685	16,802	22,000	25,000	8,198	48.8%
営業利益	1,410	953	1,200	900	-53	-5.6%
営業利益率	7.6%	5.7%	5.5%	3.6%	-2.1%	-

(前期比)  
売上・利益  
増減要因

- ✓ サンコー(株)と(株)インテリアオフィスワンの新規連結を見込む（インテリアオフィスワンは当初予想では見込まず）。
- ✓ 仕入品の高騰や競争が激化しているEC事業等での広告宣伝費・物流費の上昇が収益を圧迫。

## 3 .RN130第2次中計進捗



# RN130第2次中計進捗



RN130第2次中計最終年度は、事業環境変化の悪化により中期計画を下回るも、営業利益は過去最高値の更新を見込む

## R N 130第 2 次中計 (2021~2023)

(単位：百万円)	2021/11月期		2022/11月期		2023/11月期	
	中期計画	実績	中期計画	実績	中期計画	2023.7.13 業績予想
	売上高	107,000	106,619	114,000	109,048	127,000
営業利益	8,600	9,900	9,500	10,707	11,500	11,000
営業利益率	8.0%	9.3%	8.3%	9.8%	9.1%	9.1%
経常利益	8,200	9,784	9,700	11,715	11,700	11,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,000	8,308	6,500	7,283	7,800	7,300
R O E	—	8.4%	—	7.0%	7.0%以上	7.0%以上

## RN130第2次中計進捗 セグメント別



## RN130第2次中計 (2021~2023)

(単位：百万円)		2021/11月期		2022/11月期		2023/11月期	
		中期計画	実績	中期計画	実績	中期計画	2023.7.13 業績予想
		衣料繊維	売上高 営業利益 営業利益率	32,000 2,700 8.4%	29,872 2,749 9.2%	34,500 3,200 9.3%	29,735 3,234 10.9%
産業機材	売上高 営業利益 営業利益率	22,000 1,200 5.5%	20,390 1,235 6.1%	24,000 1,550 6.5%	23,853 1,952 8.2%	27,200 2,150 7.9%	27,800 1,900 6.8%
人とみらい 開発	売上高 営業利益 営業利益率	33,000 5,700 17.3%	34,059 6,115 18.0%	34,000 6,000 17.7%	34,938 6,151 17.6%	37,400 6,650 17.8%	32,500 6,600 20.3%
生活流通	売上高 営業利益 営業利益率	17,000 1,100 6.5%	18,685 1,410 7.6%	17,500 1,250 7.2%	16,802 953 5.7%	20,700 1,550 7.5%	25,000 900 3.6%
その他・ 調整	売上高 営業利益	3,000 -2,100	3,612 -1,610	4,000 -2,500	3,720 -1,584	5,000 -2,500	3,700 -1,700
合計	売上高 営業利益 営業利益率	107,000 8,600 8.0%	106,619 9,900 9.3%	114,000 9,500 8.3%	109,048 10,707 9.8%	127,000 11,500 9.1%	121,000 11,000 9.1%

# RN130第2次中計と業績予想の差異



コロナ禍の影響や円安・原材料・エネルギー費高騰等の事業環境変化で進捗遅れ

(単位：百万円)		2023/11月期		中期計画と業績予想の主な差異要因	
		中期計画	2023.7.13 業績予想	売上高への影響	営業利益への影響
衣料繊維	売上高	36,700	32,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益認識基準適用 (-)</li> <li>・海外事業拡大進捗遅れ (-)</li> <li>・ビジネスユニフォーム受注減 (-)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円安の影響 (-)</li> <li>・海外事業拡大進捗遅れ (-)</li> <li>・原材料、エネルギー費高騰 (-)</li> <li>・効率化、コスト削減 (+)</li> </ul>
	営業利益	3,650	3,300		
	営業利益率	9.9%	10.3%		
産業機材	売上高	27,200	27,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フジコーの新規連結 (+)</li> <li>・海外事業拡大進捗遅れ (-)</li> <li>・FA受注回復遅れ (-)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フジコーの新規連結 (+)</li> <li>・海外事業拡大進捗遅れ (-)</li> <li>・FA受注回復遅れ (-)</li> <li>・原材料、エネルギー費高騰 (-)</li> <li>・効率化、コスト削減 (+)</li> </ul>
	営業利益	2,150	1,900		
	営業利益率	7.9%	6.8%		
人とみらい 開発	売上高	37,400	32,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設関連受注減 (-)</li> <li>・キッズ事業新規出店遅れ (-)</li> <li>・TSUTAY事業の再編 (-)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設関連受注減 (-)</li> <li>・キッズ事業新規出店遅れ (-)</li> <li>・TSUTAY事業の再編 (-)</li> <li>・エネルギー費、建築資材高騰 (-)</li> <li>・効率化、コスト削減 (+)</li> </ul>
	営業利益	6,650	6,600		
	営業利益率	17.8%	20.3%		
生活流通	売上高	20,700	25,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンコーの新規連結 (+)</li> <li>・インテリアオフィスワンの新規連結 (+)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンコーの新規連結 (+)</li> <li>・円安の影響 (-)</li> <li>・仕入品、物流費高騰 (-)</li> <li>・効率化、コスト削減 (+)</li> </ul>
	営業利益	1,550	900		
	営業利益率	7.5%	3.6%		
その他 調整	売上高	5,000	3,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関連の開発案件遅れ (-)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応予算等減 (+)</li> </ul>
	営業利益	-2,500	-1,700		

# 資本効率改善の取り組み 具体的施策



自社の資本コスト（WACC）を4%程度と認識し、投資基準はROIC 8%を目標（最低条件5%）とする

収益性	高収益事業の拡大	EC事業の拡大、EC販売比率の向上
	低収益事業の縮小	通信関連事業再編、TSUTAYA（レンタル）店舗縮小
	低収益不動産の再開発	ニッケ東京ビル建替え（2022～）、神戸本店ビル改修（2023～）
	販売価格の見直し	事業環境変化に伴うコストUPの転嫁
	コスト圧縮	継続的なコスト削減
効率性	CCC短縮	ユニフォーム事業のバリューチェーンの見直し
	稼働率向上	フジコーとアンビックの生産統合・人財の流動化
	事業再編	ナイスデイとAQUAの合併（2022/10）
財務 レバレッジ	株主還元	配当性向30%、DOE2%を目安に安定的に配当 設備投資の進捗、株価水準等を勘案し、機動的に実施



# ニッケグループの今後の成長ドライバー

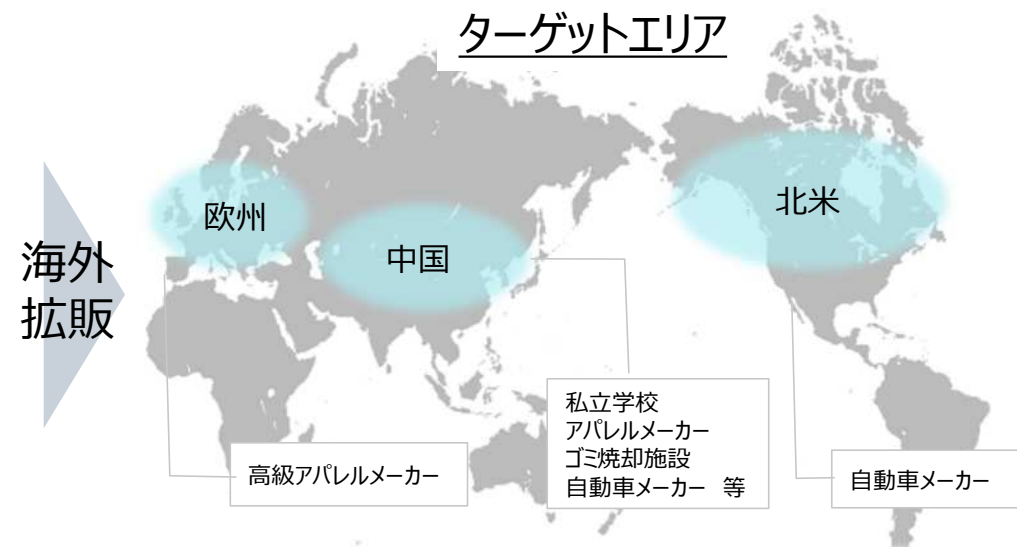


- ① 海外ビジネスの拡大
- ② 地域密着と再開発
- ③ EC販売
- ④ フジコーとのシナジー

# 成長ドライバー進捗 ①海外ビジネスの拡大



繊維・産業用資材等の国内市場は飽和・縮小傾向  
事業環境（EV化、中国環境規制等）を後押しに海外ビジネスの拡大を目指す



- ✓ 中国学生服は、今後ターゲット市場（私立学校）の縮小が見込まれる等、事業環境が悪化
- ✓ 環境用フィルターは、中国での受注が計画通りに推移

# 成長ドライバー進捗 ②地域密着と再開発



ライフサポート分野を中心とした地域密着型の複合的な事業展開と  
保有資産の再開発で持続可能な社会の実現とともに安定した成長を目指す

## ライフサポート関連事業



介護事業



保育事業



スポーツ（テニス・ゴルフ）等

- |          |             |                          |
|----------|-------------|--------------------------|
| 2021年3月  | <b>介護</b>   | ニッケととて加古川式番館開業（兵庫）       |
| 2021年4月  | <b>介護</b>   | ニッケあすも一宮式番館開業（愛知）        |
| 2021年4月  | <b>介護</b>   | ニッケあすも加古川式番館開業（兵庫）       |
| 2021年4月  | <b>保育</b>   | ぽっかぽっかにつけ保育園朝霧開園（兵庫）     |
| 2022年4月  | <b>介護</b>   | トータルリハビリテーション トリア開業（千葉）  |
| 2022年4月  | <b>スポーツ</b> | ニッケゴルフスクールユニオン緑が丘開業（千葉）  |
| 2022年10月 | <b>SC</b>   | ニッケコルトンプラザリニューアル（千葉）     |
| 2023年3月  | <b>介護</b>   | ニッケととてあま・ニッケふれあいセンターあま開業 |

## 主な再開発候補エリア



ニッケコルトンプラザ（南側）  
（千葉県市川市）



ニッケ一宮事業所遊休エリア  
（愛知県一宮市）



2024年  
竣工予定

ニッケ東京ビル  
（東京都中央区）



2023年  
改修着手

ニッケ神戸本店ビル  
（兵庫県神戸市）

- ✓ ニッケ東京ビルは住友商事(株)と共同で建替え事業に着手（2025年以降収益化見込み）
- ✓ 神戸本店ビルは2023年より改修工事に着手

# 成長ドライバー進捗 ③EC販売



ミヤコ商事、AQUA、サンコー、インテリアオフィスワンが加わりEC事業がさらに拡大  
グループ内の連携強化で今後さらなる成長を目指す

## ニッケグループで扱う主なEC関連商材



寝装品



家具

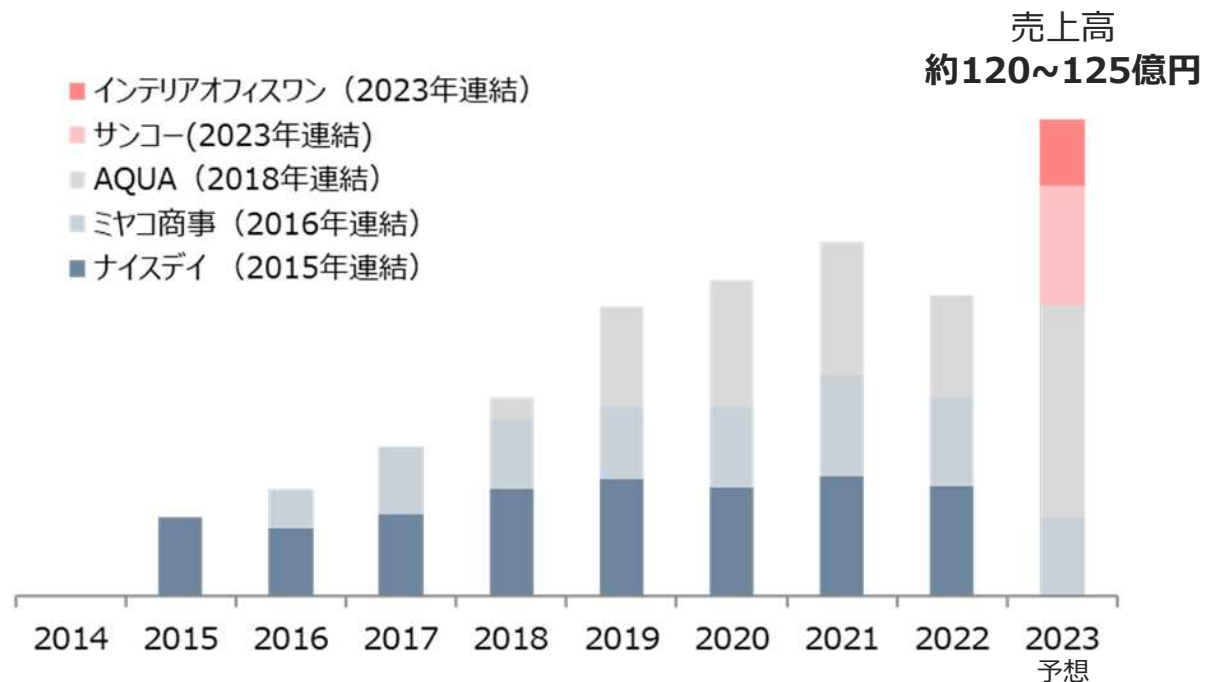


キッチン用品



家電

## ■ EC販売を主体とする事業の売上高



- ✓ 2022年11月EC通販サイトを運営するサンコーの株式を80%取得 (2023年連結開始)
- ✓ 2023年6月EC通販サイトを運営するインテリアオフィスワンの株式を80%取得 (2023年連結開始予定)

※2022年10月にAQUAとナイスデイ合併  
 ※2023年はサンコー：10カ月連結（予定）、インテリアオフィスワン：6カ月連結（予定）

## 成長ドライバー進捗 ④フジコーとのシナジー



M&Aによる成長投資を着実に実施し2021年9月にフジコーを完全子会社化  
不織布事業の生産統合とフジコーの経営合理化で収益拡大を目指す

### ■これまでの経緯

- 2020年 5月 ニッケ・アンビックとフジコーの間で**資本業務提携契約**を締結（30.7%の株式取得）
- 2020年 6月 ニッケの産業機材事業本部長が**フジコーの代表取締役社長を兼任**
- 2021年 1月 フジコー館林工場を閉鎖し、生産を**アンビック**へ移管
- 2021年 9月 ニッケが**フジコーを完全子会社化**
- 2021年12月 2022年11月期会計年度より、**通期で連結を開始**



羊毛プレスフェルト製品



協業体制を  
さらに強化

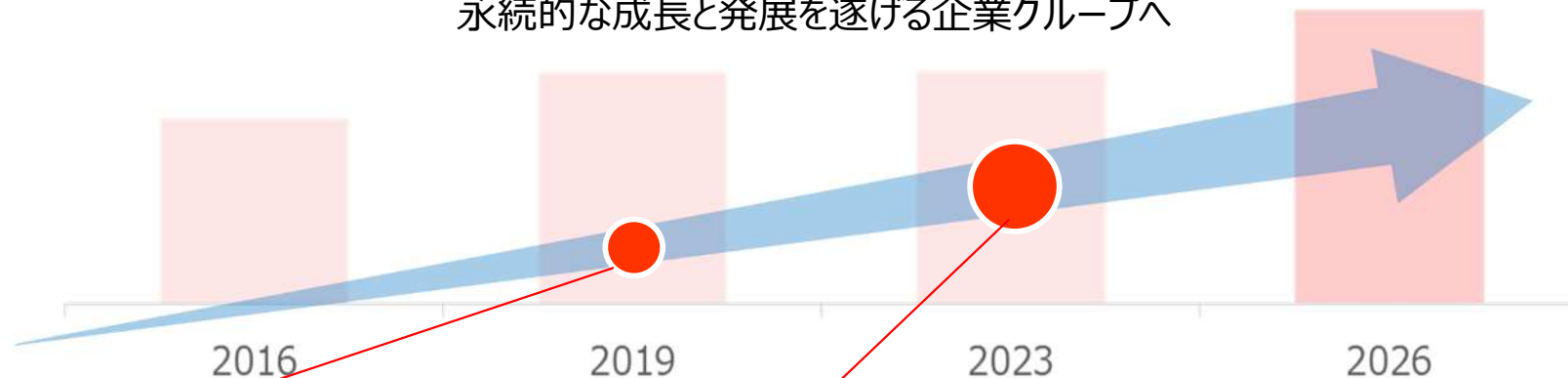
- ①各分野における人財交流
- ②国内外における製造インフラの相互利用
- ③購買、販売、管理などの協業
- ④研究、商品開発における協業
- ⑤海外事業の推進に向けた協業

- ✓ 2022年度から通期で連結を開始し、人財の流動化等協業体制をさらに強化
- ✓ 2024年度を目途にアンビックとフジコーの生産統合を図る

# リニューアル・ニッケ130ビジョン（中長期ビジョン）

今後10年間のニッケグループの目指す方向性、企業像、経営戦略を再構築し、中長期的な企業価値の向上を目指していく（2016年1月発表）

永続的な成長と発展を遂げる企業グループへ



第1次中期経営計画	<b>第2次中期経営計画</b>	RN130の具現化、さらにその先へ
2017～2019年度	2021～2023年度	2026年度、さらにその先へ
ビジョンを具現化するためのフェーズ1と位置付ける。各事業領域の芽を育て、その発展を軌道に乗せる。	RN130へ向けて加速していく3年間と位置付ける。新型コロナウイルスの影響を注視しながら着実に業績を回復させ、2019年に達成した過去最高の売上利益を更新する。	未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域NO.1サービス」の開発と提供へ挑戦し、各事業が描く「みらい生活創造企業」を目指す。

⇒ 次期中計となるRN130第3次中期経営計画（2024～2026年度）は2024年1月発表予定

## 4. 株主還元



# 資本政策・株主還元



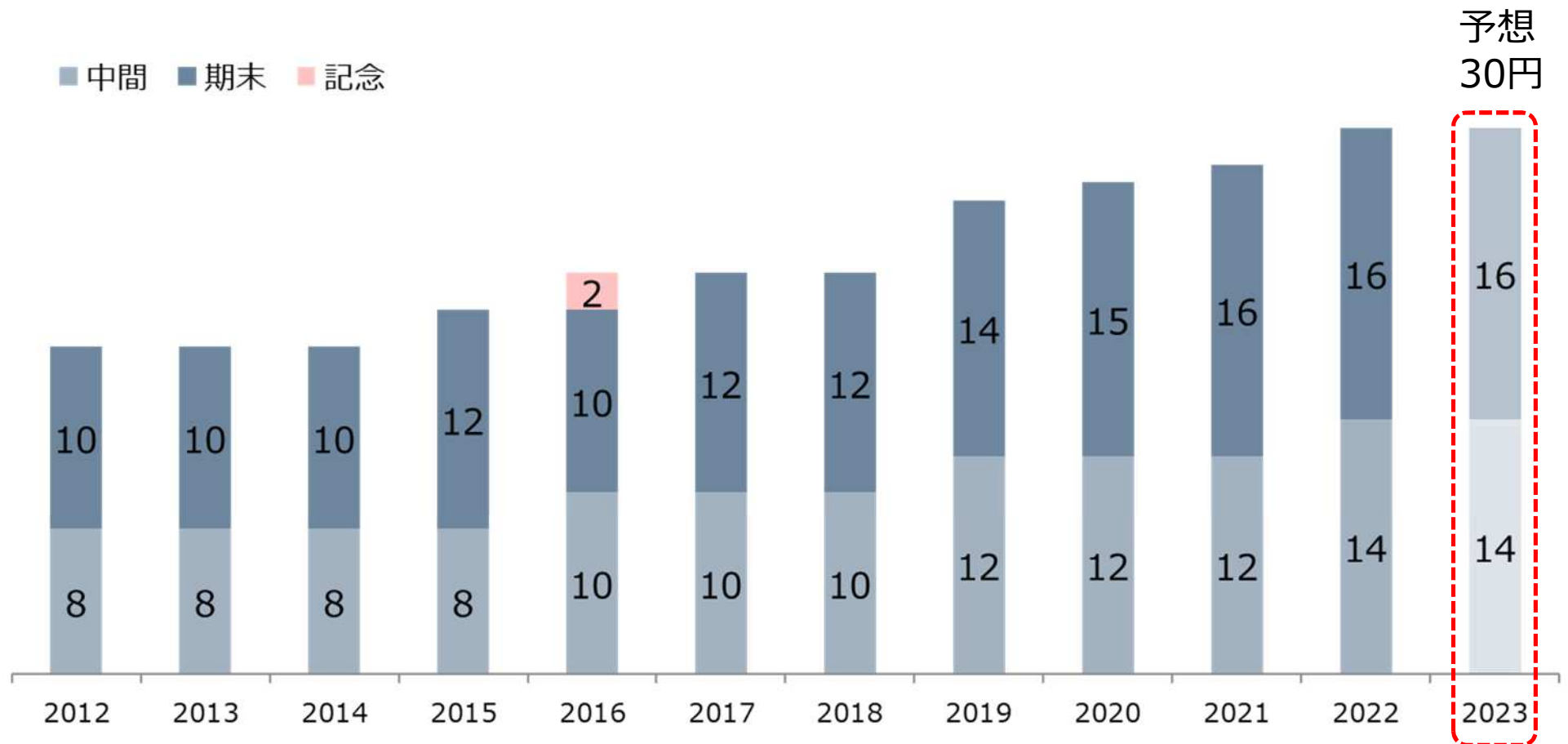
- ①成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向する。
- ②成長投資については、研究開発投資、M & A 投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から内からの成長（設備投資）と外からの成長（M & A）のバランスの取れた投資を積極的に実行する。
- ③株主還元については、安定的な配当政策を継続する。配当性向30%、DOE（株主資本配当率）2%を目安とし、利益水準に応じて配当を引き上げていく。また、自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させる。



# 1株あたり配当



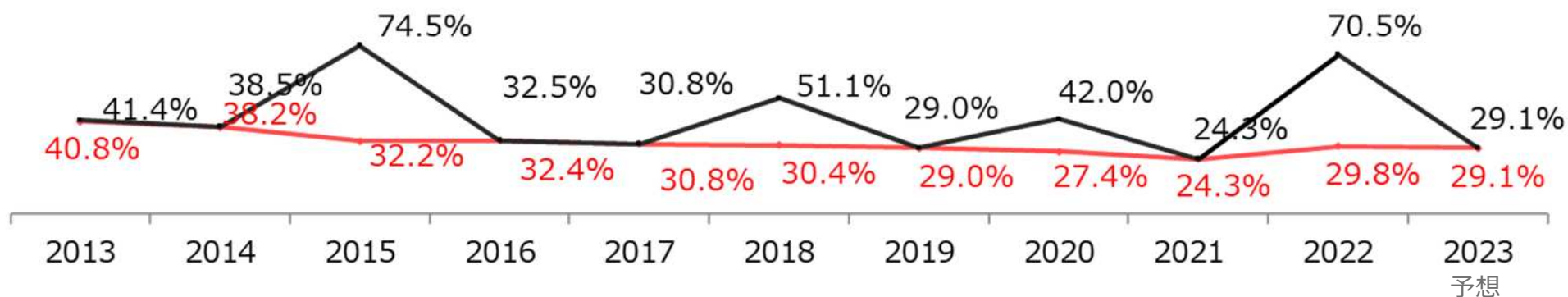
2023年11月期は1株あたり年間30円を予定



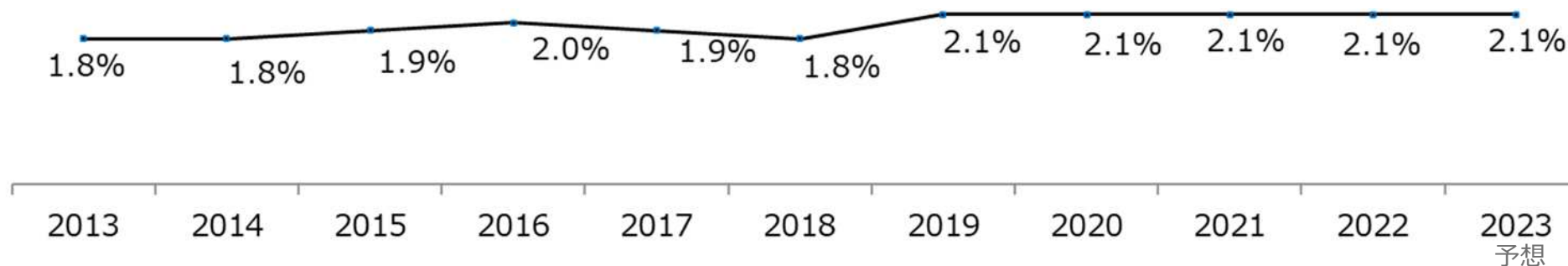
# 配当指標



— 配当性向 — 総還元性向



— 株主資本配当率 (DOE)



※1 発行済株式総数は2022年4月12日時点ベース

## 5.トピックス



# (株)インテリアオフィスワンの株式取得



## EC事業のバリューチェーンを拡大

当社は、株式会社インテリアオフィスワン（<https://www.i-office1.co.jp/> 英文名：Interior office one Inc.以下、インテリアオフィスワン）の発行済株式の80%を取得しました。

インテリアオフィスワンは、「お客様の快適な眠りをかんがえ、睡眠を通し健康で豊かな生活をご提供します。」を企業理念とし、ベッド・マットレス・寝具ジャンルを中心に、数多くの自社企画開発商品を生み出し、自社サイト“ネルコンシェルジュneruco”をはじめAmazon、楽天などのECプラットフォームでのB2C事業とB2B事業を展開しています。

今回のグループ会社化を機に、両社の得意分野を相互に活用・協業することで、お客様をはじめ関係者の皆様に、今まで以上により良い商品とサービスをお届けし、ニッケグループの企業価値向上に努めてまいります。



会社名：株式会社インテリアオフィスワン  
所在地：埼玉県さいたま市大宮区土手町 1-2  
JA 共済埼玉ビル 1階  
代表者：阿比留 亮  
資本金：10,000千円  
売上高：約40億円

# PGAシート「Pawdre<sup>®</sup>」の薬事承認取得



## 再生医療分野へ戦略的に投資

ニッケ100%子会社の株式会社京都医療設計は、このたび、PGAシート「Pawdre<sup>®</sup>」（ポードレ）の薬事承認（2023年6月22日付）を取得しました。

PGAシート「Pawdre<sup>®</sup>」はポリグリコール酸（PGA: Polyglycolic acid）を材料とした吸収性縫合補強材で、特殊加工により生体に適した伸縮性、柔軟性を有すシート状の組織補強材です。肺・肝臓・舌ガン切除面、気胸部位のシール等、縫合部や脆弱組織の補強に幅広く用いられます。加水分解により、強力（糸や布帛などの見かけ上の耐力）が徐々に失われ最終的には吸収・代謝され、約15週間後にはほとんどが組織に吸収されるため、抜去の必要が無く、体内に異物として残らないことから、患者様の心身への負担が最小限となり、QOL（Quality of Life）を大いに向上させます。

ニッケグループのメディカル事業では、再生医療分野に戦略的に投資を行っており、グループの技術・知見を活かし、連携して製品創出に取り組み、「Pawdre<sup>®</sup>」の他にも、iPS細胞（人工多能性幹細胞）などの培養時に3次元足場材料として使用される細胞培養用ゼラチン繊維基材「ジェノセル」の開発にも成功しています。今後も生体吸収性材料をコア技術として、メディカル事業を通じてヘルスケア・医療を取り巻く社会課題解決に取り組み、SDGsの目標達成とサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

### Pawdre<sup>®</sup> 吸収性組織補強材 PGAシート

#### KYOTO MEDICAL PLANNING

会社名：株式会社京都医療設計  
所在地：埼京都市山科区四ノ宮神田町  
4番地 古橋山科ビル  
代表者：上杉 昭二  
資本金：22,000千円



ポリグリコール酸からなるシート状の組織補強材



脆弱組織に貼り付け補強

# PT.FUJIKO INDONESIAへの増産投資



## インドネシアで不織布製造設備の増設に約9億円投資

ニッケグループでは、中期経営計画において基本戦略の一つに海外ビジネスの拡大を掲げております。今般、産業機材事業において、海外生産拠点の一つであるPT. FUJIKO INDONESIA（以下、フジコーインドネシア）において不織布製造設備の増設投資を行うことを決定いたしました。

フジコーインドネシアは、2013年の設立以来大手お取引先向けに不織布を製造していますが、現在、生産能力の問題によりお取引先からの要請に一部対応できず、また、今後一定の需要増が見込まれることから、現在の第1ラインに加え、より生産性の高い第2ラインを増設することを決定いたしました。

今回増設する不織布製造設備は、既に導入実績があり円滑な立ち上げが可能、かつ現在の第1ラインに対して25%の生産性向上を期待できるものです。また、同時に、照明のLED化や集塵装置の強化等、より環境にやさしい施設へと整備を行う予定です。

### 【投資内容】

導入場所	: PT. FUJIKO INDONESIA（インドネシア）
導入設備	: 不織布製造設備
最大生産能力	: 約2,500t/年（既存ラインを含む）
投資金額	: 約9億円
導入時期	: 2025年3月本格稼働予定



PT. FUJIKO INDONESIA

# 新たな介護施設を2施設開業（愛知県あま市）



## ライフサポート関連事業の拡充

株式会社ニッケ・ケアサービスは、2023年3月1日、愛知県あま市の商業施設「ニッケタウン甚目寺」内に、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の「ニッケてとて あま」と小規模多機能型居宅介護の「ニッケふれあいセンターあま」の2施設を開業しました。株式会社ニッケ・ケアサービスは、関西、中部、関東の30カ所以上で介護事業を展開しており、あま市においては、既に近隣でグループホームの「てとて ニッケタウン」を運営しております。

あま市の高齢者の皆様方には、今回開業の施設とあわせた3施設で、より高い品質の介護サービスを提供し、地域福祉の発展に貢献してまいります。

### <施設の概要>

施設名	ニッケてとて あま	ニッケふれあいセンター あま
サービス種別	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	小規模多機能型居宅介護
所在地	愛知県あま市甚目寺権現4-2（ニッケタウン甚目寺 内）	
開業日	2023年3月1日（火）	
定員	18人（9人×2ユニット）	29人（登録人数上限）

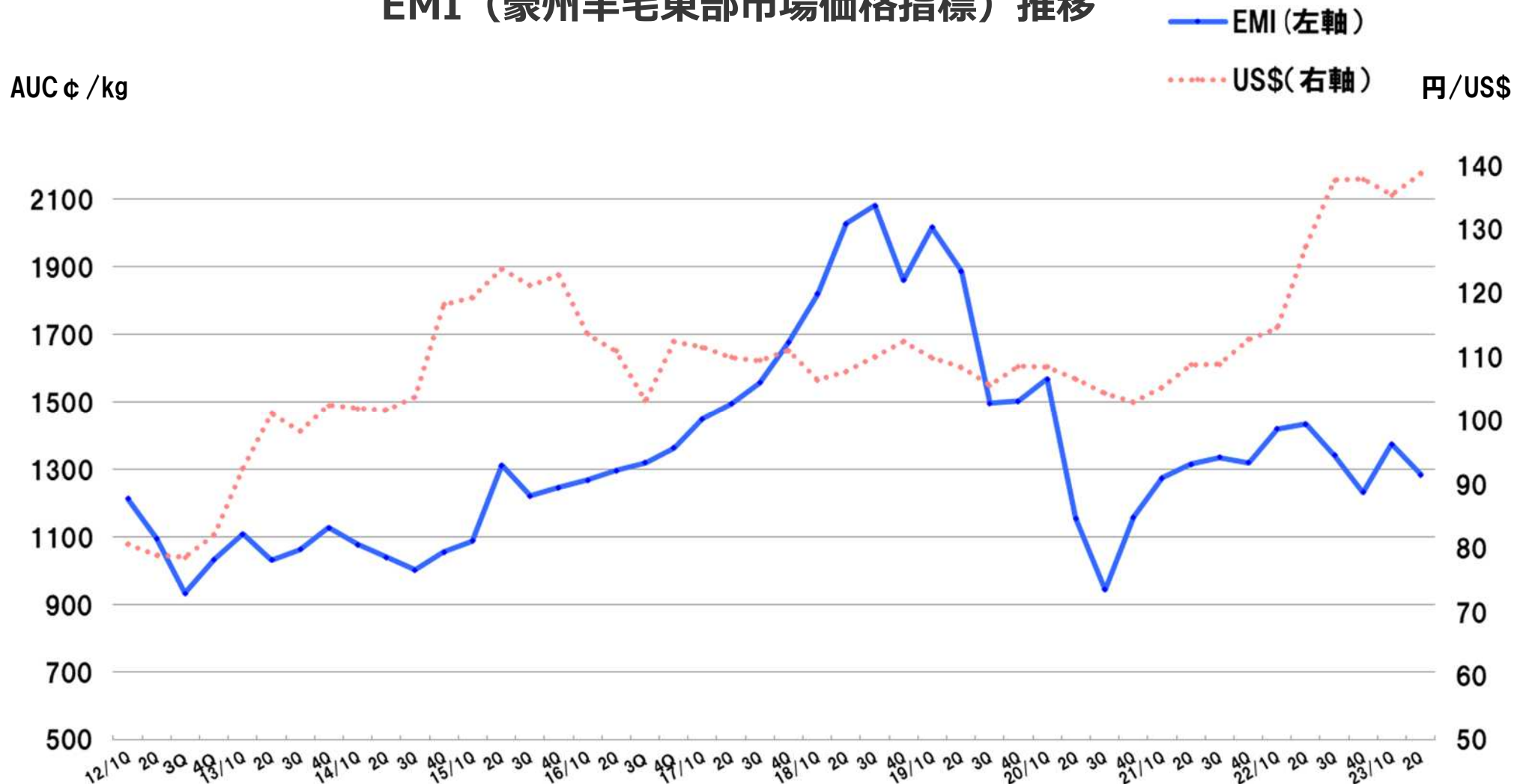


## 6. 参考資料



# 羊毛原料相場・為替相場の推移について

## EMI（豪州羊毛東部市場価格指標）推移



※羊毛原料：衣料繊維事業の主原料として使用

# 株価チャート

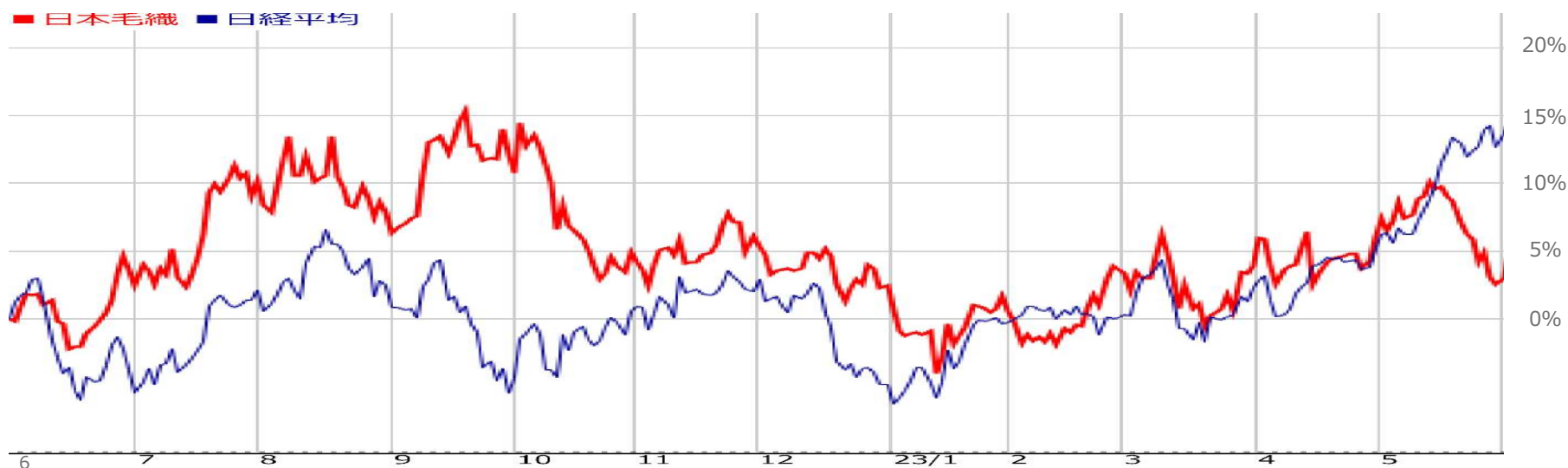
期間：2022/6/1～2023/5/31（直近1年）



当社株価チャート



日経平均比較チャート





## 本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。